



## 6年生を送る会

2月28日(火)に「6年生を送る会」を行いました。卒業まで残りがわずかとなった6年生と下学年の交流会です。

最初は「6年生クイズ大会」。6年生一人ずつについて3択クイズが出され、本人が答えを発表するクイズ大会でした。5年生が計画から頑張って運営しました。

次に、在校生からは学年別にお祝いのプレゼントや歌・踊りの披露がありました。卒業生に対する感謝の気持ちを、声にして、また目に見える形にして伝える出し物が続きました。6年生からは合奏のお返し。最後に、校旗の引き継ぎ、全校合唱で終了しました。マスクをしながらですが、こういう交流会ができることをうれしく思いました。

6年生にとって、小学校を卒業し中学校に入学するのは人生の一つの節目です。「節ありて竹強し」という言葉がありますが、竹が簡単に折れないのは、「節」があるからだそうです。この会も、卒業に向けての小さな節目になったはずです。



アーチを通過して入場



6年生クイズは盛り上がりました



後ろには1年生が描いた似顔絵



1年生のかわいいダンス



5年生は元気よく応援コール



校旗が5年生に引き継がれました

## PTA 役員会

3月2日(木)、堂崎公民館で PTA 役員会が開催されました。各学級部会・専門部会・自治会代表者から今年度の活動報告がありました。どの部会もコロナ禍の制限がかかる中で、できる活動を進められていました。その後、確定済の次年度役員報告、本部役員選考委員会から選考状況の報告がありました。次年度本部役員についてはスムーズに選考が進んでいるということでした。

最後に、田口養護教諭より学校保健委員会の報告があり、閉会しました。

## <校長日記>

2月27日(月)

運動場に面して「堂崎小学校 創立100周年記念碑」が建っています。記念碑には、堂崎小学校創立が明治8年7月とあります。昭和51年3月に100年記念祭があり、その時に寄贈により記念碑が設置されています。また、石碑には御芳志をいただいた方々のお名前が刻まれています。現在、本校は創立148年目ということになります。



2月28日(火)

毎年この時期になると、6年生から卒業文集の原稿依頼があります。私は、ここしばらく卒業文集に同じ内容のことを書いています。それは、若い頃に先輩教師が話していた「あ・お・い・く・ま」という話です。私がそれを守れないので(笑)事あるごとに自分に言い聞かせる言葉でもあります。30年以上前に聞いた話なのにいつまでも覚えていて、その受け売りをしているだけなのですが、その後これが禅の教えであることを知りました。「あ●●●」のような5つの言葉の頭文字をつなげると「あおいくま」になります。先人の教えはすごいなあ、と思います。

3月1日(水)

今日から3月。学校では昨日の「お別れ集会」を終え、次年度に向けての引き継ぎがはじまっています。朝活動の地区児童会では、新しい登校リーダーを決めていました。明日からはグループの先頭を歩く登校リーダーが新しい子になります。また、6校時の委員会活動は4年生が参加し、新しいメンバーでスタートしていました。委員会活動も明日から4・5年生で仕事を進めていくことになります。どちらもしばらく6年生がサポートしていきながら、仕事を覚えていきます。



3月2日(木)

午後からパソコン室で PTA 広報部の活動があっていました。突然、「校長先生、原稿お願いします。これくらいのサイズで。」と依頼があり、書きました(笑)。

3月3日(金)

朝活動の時に、3年生が1・2年生の教室に出向き、前に並んでいっしょに歌を歌っていました。コロナ禍の卒業式では在校生は歌を歌いませんでした。それで、3年生がお手本を示しながら練習していたようです。今年の卒業式では歌う予定です。また、制限はしましたが来賓の方々にも卒業式の案内を差し上げています。5月に向けて、徐々にではありますが通常の活動が戻りつつあります。



## 儀式の「儀」は、地球儀の「儀」

学校には「儀式」と言われる行事があります。儀式を辞書で引くと、「一定の作法・形式で執り行われる行為・行事」とあります。

担任をしていた時、子ども達に「卒業式は、学校で一番大きな儀式です。」と言うと、「儀式って何ですか?」という反応をする子が必ずいました。そういう時は、おおよそ下のような話をしていました。

儀式の「儀」は、地球儀の「儀」です。お手本とか見本、モデルの意味です。地球の見本＝モデルだから地球儀です。「式」は、算数で使うように「やり方」の意味です。

だから、儀式というのは「やり方の見本、手本、モデル」という意味になります。つまり、卒業式は、きちんとした場面での立ち振る舞い方のお手本を学ぶ時間です。

卒業式は、6年生の卒業を認定し、お祝いする行事ではありますが、それだけではなく、作法的なことの指導をするいい機会でもあります。

実際、卒業式の練習の時には様々な作法を指導しています。「礼」の仕方一つとっても、子ども達に身につけさせるには時間がかかります。しかし、こういう作法もどこかで学んでおく必要があるものです。

集会で表彰状を受け取ることになった子どもたちは、何も言われなくても卒業証書の受け取り方を真似て受け取ります。卒業式に出席して、卒業生の動きを見ることで自然に学んでいるのだと思います。

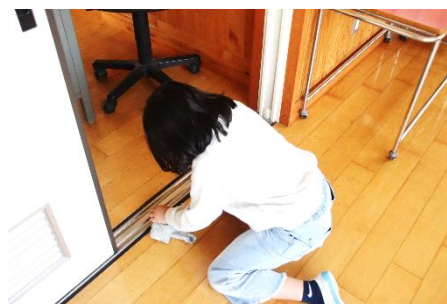
日本人の常識としての立ち振る舞いというのがあります。これから先、いろいろな場面でそれを求められることがあるでしょう。在校生にとっては静かに座っている時間が長くて、きついこともある卒業式ですが、礼儀作法を学ぶ場でもあったのです。

厳粛な中にも、心温まる雰囲気のある卒業式となるよう指導をしていきます。

### <校長日記>

3月6日(月)

今週は校内美化週間。年度末でもあり、卒業式前でもあり、しっかり掃除をやって学校をきれいにしていこうという一週間です。いつもはやらない場所、例えば教室扉の敷居などをきれいにしようと子どもたちが頑張っていました。



### 3月7日(火)

昨日から、卒業式練習がはじまっています。今日は、朝活動で卒業生と在校生が分かれて練習がありました。在校生の練習では、教務主任の中川先生が「めあて」を黒板に貼りながら、子ども達の意識を卒業式モードに切り替え、高める指導があっていました。



### 3月8日(水)

卒業式全体練習があり、その後に表彰伝達を行いました。

- ・南島原市セミナリヨ版画展 受賞者
- ・長崎県交通安全啓発図画コンクール 入選 1年 松尾あんな
- ・九州少年サッカー長崎県大会 3位 有家FC
- ・南島原市防犯少年剣道大会 優勝 堂崎剣友会

### 3月9日(木)

消防設備点検がありました。学校では定期的に業者の方が入って感知器等の設備点検をするようになっていきます。

### 3月10日(金)

卒業式に向けての掲示が校内のあちこちに見られます。春らしいもの、手の込んだもの、メッセージのあるもの、様々です。こういうのも学校の文化だと思います。



#### マスクの着用について

「3月13日からマスク着用は個人の判断を基本とする」という政府からのアナウンスがあっています。

しかし、このルールについての学校での適用は4月1日からとなっています。ですので、3月中は今まで同様、学校では「原則として屋外不要、屋内着用」です。

ただし、卒業式に関しては、「卒業生の入退場及び卒業証書授与は、マスクなしで行う」ようにします。

ご理解、ご協力をお願いします。

#### 4月行事予定

- 7日(金) 始業式 \*給食なし
- 10日(月) 給食開始 2~6年
- 11日(火) 入学式
- 17日(月) 給食開始 1年
- 21日(金) 歓迎集会・歓迎遠足
- 27日(木) 授業参観, 学級部会  
PTA 総会, 専門部会

\*授業参観の日時について、入学説明会時の予定から変更しています。

\*1年生は14日(金)まで 11:30 下校



## 最近の若い者は……

歳をとったからなのか、話をしている時に、「最近の若い者は……」という言葉がでることがあります。実は今日もありました(笑)。ところで、下の文を読んでみて下さい。

「このごろの若者は贅沢になった。礼儀作法も知らないし、目上の人を尊敬せず、権威にさからう。子どもたちは部屋に年輩者が入って来ても席をゆずろうとしない。両親に口ごたえし、来客の前でさわがしく無作法な食べ方をする。そして、先生に対しても横柄である。」

この文は、いつ頃書かれたものだと思いますか？

これは古代ギリシアの哲学者ソクラテスの言葉なのだそうです。今から2500年くらい前の人の言葉ということになります。

書いてあることからすれば、最近書かれたものだと言われても違和感ないように感じるのは私だけではないでしょう。こんなに昔から「最近の若い者は……」と批判されていたのかとびっくりします。

私は大学時代の専攻が「教育哲学」でした。教員の仕事に直接的には何の役にも立ちませんが(笑)、しかしなぜか嫌いでもありませんでした。哲学というのは、「当たらずといえども遠からず」的ですが、それなりにおもしろいのです。(教員になって、その反動なのか、確かさを求める「科学」の世界が好きになりました。)

その大学時代のゼミの先生の話の中で覚えているのが上のソクラテスの言葉でした。今でも覚えているのですから、よほど強烈に印象に残ったのでしょう。

平安時代の清少納言が若者言葉について嘆いていたり、ピラミッドに「近頃の若者は…」という落書きがあったりと、この類の話は山ほどあります。

どうも、古今東西、順繰りに「最近の若い者は…」とボヤいてきたのが人間という生き物なのだ考えたほうがよいようです。

それにしても、どうして歳をとると、このように若い世代の人を批判したくなるのでしょうか。ある人は、それはその人が成長したからだろう、と言っています。昔の自分がどうだったかなんて忘れてしまって、成長した今の自分から見て嘆いているだけだろうというのです。

「最近の若い者は……」と言いたくなるたびに、私はソクラテスの話を思い出します。そして、「いやいや……そんなエラそうなこと言えないなあ」と思い直したりしています。しかし、歴史に名の残る人たちが今と同じようにボヤいていたことを知るだけで、何か安心します(笑)。

明日は卒業式。堂崎小では、現代の小学生が昔と変わらぬ卒業式で、緊張しながらも爽やかな姿を見せてくれるはずです。

## <校長日記>

3月13日(月)

6年生が職員室前で学級写真を撮っていました。カメラを構えていたのは永田教頭先生。卒業式に配布する「卒業のしおり」の表紙に使うための写真だということでした。3月に入って撮ろうと思っていたら、6年生が全員揃う日がなくて、やっと撮影できた次第。しおりの中には、卒業生が自分で選んだ言葉を毛筆で書いたものがメッセージとともに掲載されています。



3月14日(火)

有家中学校の卒業式に出席しました。中学校の卒業式に出席するのも3年ぶりです。卒業生の中に前任の蒲河小学校出身の子がいました。すっかり大人の顔と体になっていて、一目見ただけでは誰だかわからないくらいの成長をしていました。立派な態度で卒業証書を授与される姿を見ることができ、たいへん嬉しく思いました。

3月15日(水)

集団下校の時に、「交通少年団」の子どもたちの紹介をしました。交通安全運動期間に街頭指導をするのが主な仕事です。卒業生10名が退団し、4月から新6年生7名が頑張ることになります。



3月16日(木)

卒業式前最後の練習がありました。卒業生も在校生も立ち姿や礼の仕方が格段によくなり、呼びかけの声や歌声がすばらしく響くようになりました。先生方の指導に頭が下がります。天気が心配ですが、いい卒業式になりそうです。



四月から学校でのマスク着用は個人の判断となります。(ただし、スクールバス内ではマスク着用が推奨されています。)



## 第76回卒業証書授与式

3月17日(金)、堂崎小学校の第76回卒業証書授与式を行いました。

今回は、過去3年の卒業式とちがい、マスクの着用、来賓の制限、といったことはありましたが、ほぼ従来の形に戻して実施をすることができました。

厳粛で温かい雰囲気の中、子どもたちは卒業式にふさわしい姿を見せてくれました。在校生と卒業生が呼びかけをしたり、合唱したりする姿は心を動かす力があります。

式辞では、オルゴールを例にを使って、「人は、支えられることで大きく成長できること」「支えられるだけでなく、支える人になって欲しいこと」を話しました。

そして最後に、私が好きな詩人 工藤直子さんの「花」という短い詩を紹介して結びとしました。

わたしは/わたしの人生から/出ていくことはできない/ならば、ここに/花を植えよう  
という詩です。

自分の人生から出ていくことはできません。その自分の人生は自分で作るしかありません。自分の人生にどんな花を植え、どう育て、どんな花を咲かせるか。卒業生に関わった全員が楽しみにしています。

16名の皆さん、卒業おめでとうございます。



卒業生は、記念植樹の後、本多敏正先生のギター伴奏で「糸」を歌いました。

## 離任式 離任される先生方

春は別れの季節。毎年のことですが、それぞれの別れに万感の思いを感じるのがこの季節です。

お知らせしておりましたが、本校教職員5名が令和4年度末をもって堂崎小学校を退職・異動することとなりました。

子どもたちにとっても、職場を共にした私たちにとっても、先生方との別れは寂しいものです。しかし、この別れがあるから私たちは気持ちを新たに生きていける気もします。それぞれ4月から新天地でご活躍されることと思います。先生方、お世話になりました。

◇ 林田 規行	定年退職
◇ 水田 秀明 先生	南島原市立有家小学校へ
◇ 辻 優花 先生	東彼杵町立彼杵小学校へ
◇ 片山 尚秀 先生	(再任用)退職
◇ 田中 順子 先生	南島原市立深江小学校へ

## <校長日記>

3月17日(金)

卒業式が終わって見送りをした後、卒業生が記念植樹を行いました。ウサギ小屋前に、ドウダンツツジとミモザの苗木が植えてあります。花が咲く日が楽しみです。お世話いただいた保護者の皆様ありがとうございました。

3月20日(月)

朝活動で卒業式の後片付けがあっており、掲示物も取り外されていました。1年生が描いた卒業生の似顔絵は、修了式に来た時に本人に持ち帰ってもらうそうです。



3月22日(水)

朝から牛乳を運んでくるトラックの運転手さんに、「3月で定年退職します。お世話になりました。」という挨拶をしました。運転手さんとは、前任校からすると5年間、毎朝、顔を合わせ挨拶を交わしていたので、何かすごく親しみを感じていたのです。「ご苦労様でした」という言葉をかけてもらい、ジーンとききました。

3月23日(木)

3年生の子どもたちがメッセージを書いた色紙を校長室に持ってきてくれました。うれしい言葉がたくさん書いてありました。こういうものをもらえるのは、学校に勤めている者の役得ですね。いい仕事です。

3月24日(金)

令和4年度修了式。児童代表の言葉は1年生の松尾陽向君と渡邊美樹さんでした。1年生で頑張ったこと、成長したことを立派に発表してくれました。

私が堂崎小に赴任して2年がたちます。保護者の皆さまには、堂崎小学校の教育活動に関してご理解とご協力をいただきましたことに心より御礼申し上げます。

この2年間、子どもたち一人ひとりの表情が見える小規模校のよさを日々感じながら仕事をすることができました。ただ、最初から最後までずっと新型コロナウイルスへの対応が続き、もどかしさを感じることもありました。また、PTA活動も中止が続き、保護者の方々との交流を深めることができなかったことは心残りでもあります。

力不足なところも多々ありましたが、保護者の皆さまが学校を温かく見守っていただいたことに感謝の言葉しかありません。幸せな2年間でした。

私は3月31日をもって定年退職となります。37年間の教師生活も一区切り。これにて私の「堂小だより」も終了です。お世話になりました。